

かねやま絆の森だより 2017.11

【第20回かねやま絆の森 現地活動】

10月22日の記念すべき現地活動は、超大型台風が接近することと、20回目にしてはじめて保育作業中止の判断をとり、代替で午後からのコンサート準備を全員で行い、空いた時間で街並み散策をしました。山形交響楽団を招いての、金山中学校吹奏楽部との交流事業は地元の町民の方々にも大変喜ばれました。



出張指導も含め、プロ指導のもと猛練習してこの日を迎えた生徒たち。山形交響楽団と協演を果たし、達成感と自信に満ち溢れた笑顔です。

「絆の森」活動20回目を記念
金山中と山響 共演
「かねやま絆の森」活動20回目を迎えたことを記念する事業「夢の架け橋プロジェクト」が22日、金山町金山中で開かれ、山形交響楽団と同校吹奏楽部の演奏を町民約100人が楽しんで「写真」を撮るなど、森でつながる音と人をコンセプトに、山響の金管五重奏のメンバー5人と吹奏楽部の17人が共演した。山響のメンバーはバックハの小フーガやドラゴンクエストの音楽などなじみの曲を披露。吹奏楽部員は1カ月間練習した「銀河鉄道999」を一緒に奏で、軽やかで迫力満点のパフォーマンスに大きな拍手が送られた。山響の西濱秀樹専務理事が講演し、木を材料とした楽器の話を通して、自然と音楽の密接な関係について語った。



絆の森参加者と、山形交響楽団、金山中学校の吹奏楽部の皆さんで顔合わせ。現地に植える予定だった記念樹を贈呈という形でお披露目し、お互いを身近に感じることができました。

かねやま絆の森 第20回記念事業
森でつながる音と人「夢の架け橋プロジェクト」

かねやま
山形のタカラモノ山形交響楽団による
トークあり共演ありの交流コンサート

山響

講演タイトル
「最高の楽器が奏でる音色は、美しい木によって生まれる」
山形交響楽団 専務理事（兼）事務局長 西濱秀樹 氏

アンサンブル・プログラム

- Just a Closer Walk with Thee (ジャスト・ア・クローサー・ウオーク・ウィズ・ジイ)
- フーガ短調「小フーガ」 BWV 578 (JSバッハ)
- ・天空の城ラピュタ～ 鳩と少年
- ・となりのトトロ～さんぽ (久石譲)
- ・ハンガリー舞曲 第5番 (ブラームス)
- ・指揮者体験 ハンガリー舞曲
- ・前奏曲集 第1集 - 第8曲 亜麻色の髪の乙女 (ドビュッシー)
- ・リーダー・オブ・ア・ビッグタイム・バンド (porter ポーター) テューバ ソロ
- ・ラッサス トロンボーン (Fillmore フィルモア) トロンボーン ソロ
- ・ドラゴンクエストより
- 序曲～この道わが旅～高貴なるレクイエム～そして伝説へ(すぎやまこういち)



10月27日 山形新聞掲載



山形交響楽団の西濱専務が、楽器と木（森）の話をしてください。森林と人のかかわりの歴史や環境保全の必要性を新鮮な切り口で来場者にわかりやすく講演してくださいました。



活動メニューの変更で多少混乱もありましたが、参加者に一体感が出て、皆でコンサートを上げる雰囲気になり20回にふさわしい活動になりました。

講演の中で西濱専務が「このコンサートも絆の森の皆さんと共にできる森づくりの一部です。」とたくさんの方の前でお話くださいました。山響さんが、音楽を通じて町民の皆さんとかねやま絆の森をつないでくれる形になりました。環境税を活用して絆の森を運営している私たちにはありがたい一言でした。そして、オーケストラができる環境保護の活動はこういう形でもアリだなあと納得しました。また、こういう形の参画を周囲が「アリ」と評価することで、今後さまざまな業態の組織が、森づくりに参画できると思います、更なる可能性を感じました。

来場者は80名、選挙や大雨が重なった中で、町民の皆さん、よくお越しいただいたと思います。総勢140名ほどでコンサートを楽しみました。

山に入らず、保育作業なしの活動ではありましたが、やまがた絆の森と地域の皆様、山形交響楽団と金山町中学校、大人から子供たちへいろいろなものがつながり、想いが伝えられた一日だったと思います。